

ユーモアスピーチ船橋

2022 (R4) 年 1 月 13 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

182 回船橋ユーモアスピーチ

2022 年 1 月 13 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「今年の抱負」

ロングスピーチ

全員参加の 3 分間即題

12 月 9 日の参加者：辻内、飯野、原田、佐々木、松永、
常廣、中久木、長井、入江、工藤、辻内、山中、植野、
長嶋 14 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 15:00~18:00

会場 船橋中央公民館 第 8 集会室
5 階

前回のロングスピーチ

「ロングスピーチと私」

辻内 京子さま

ロングスピーチでは色々なことを教えて頂きました。先日は
渋沢栄一のスピーチを聞き ドラマを見るようになりました。
大隈重信の事にも興味も持ちました。
彼は晩年大病を患い 健康五箇条を作ったそうです。

- 1 怒るな
- 2 愚痴るな
- 3 過去をかえり見るな
- 4 未来を見据えよ
- 5 世のために尽くせ

ロングスピーチのお陰で得た知識です。



残り時間は過去に行った 「指を使った認知予防」を復習しました。

前回のロングスピーチ

「幕末の三舟の一人・山岡鉄舟」

入江 清之さま

略 歴:天保7年(1836)本所生まれ、幕末幕臣、幕末三
舟(勝海舟、鉄舟、高橋泥舟)、剣・禅・書の達人、江戸城無
血開城の立役者、明治初期官僚、明治21年(1888)没、享
年53歳、

① 江戸城無血開城の立役者

山岡鉄舟は15代将軍徳川慶喜に命じられ官軍陣地へ
単身乗り込み、官軍参謀西郷隆盛と会談して江戸城無

血開城の大枠を決めた。維新後の鉄舟は明治政府で静岡藩権大参事、茨城県参事、伊
万里県権令、明治天皇の侍従・宮内大丞・宮内少輔などの重職を歴任した。さて鉄舟は



慶應4年に駿府で官軍参謀西郷隆盛と会うことが出来たが、西郷は直ぐに5項からなる江戸城無血開城の条件を提示した。鉄舟はそのうち①～④項は敗軍の幕府としては飲まざるを得ないが、将軍徳川慶喜を備前藩(岡山)に預けると云う⑤項だけは承服しかねると拒むと、西郷は朝命であると凄んで見せたが、鉄舟はそれにひるむこともなく「もし島津侯が我が主君と同じ立場になったら貴殿もこの5項は絶対に引き受けられない筈です」と反論するや西郷は長考して、あの鉄舟が江戸百万の民と主君の命を守るため死を覚悟で単身敵地に乗り込み、最期まで主君へ忠義を尽くそうとする赤誠さに心が動かされたようで、やがて貴殿の⑤項の主張はもっともであると認め、将軍慶喜の身の安全も保障した。この3日後に江戸薩摩邸で西郷・勝会談が開かれたが、江戸無血開城の条件のおよそは先の西郷・鉄舟会談で決まっていたので、西郷が海舟へ江戸城無血開城を約諾する旨を伝えて両者の合意が正式になされた。これで江戸百万の民と主君慶喜の命が守られ、また江戸の街も戦禍から免れた。

② 維新後の鉄舟

- 明治2年駿府県にいた鉄舟は明治政府から呼び出され、出仕すると大蔵卿大久保利通から茨城県庁内の紛糾収拾、又大蔵省次官井上馨からも伊万里(佐賀)県庁内の紛糾収拾を頼まれたので、直ぐに鉄舟は両県へ赴き対立する関係者を集めて話し合いをさせてから、最後は鉄舟が職務規定をお互いに守ることなどを指示して争いごとが鎮静化したので帰京した。すると今度は西郷から宮中入りを頼まれるが、一度は断ったものの先般の駿府会談で西郷から受けた温情に対して、ここで応えるべきだと考えると西郷と契約期間は10年間それに役職には就かないことを条件に明治天皇(当時天皇は20歳、鉄舟は36歳)に侍従した。
- 明治6年明治天皇は習志野での近衛兵の大演習を観閲するために船橋へ行幸、鉄舟も陸軍大将西郷隆盛や皇族らと侍従して船橋に宿泊している。
- 明治7年西郷は政府内の征韓論争に敗れて下野して鹿児島へ帰った。天皇はこれを心配して鉄舟に西郷を迎えに行くよう頼んだので、鉄舟は西郷説得のため鹿児島へ行ったが、鉄舟は西郷の気持ちが変わらないことを再確認すると帰京して、その旨を天皇に申し上げた。
- 明治15年鉄舟は西郷との約束通り、退官すると隠居の傍ら自宅の道場で剣道を教えていたが、明治21年7月19日皇居に向かい白装束姿で座禅を組んだまま大往生した。享年53歳。
- 鉄舟の辞世の句 「腹痛や 苦しき中に 明けがらす」 死因は胃ガン。



3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「1 年を振り返って」

工藤 文夫：「1 年を振り返って」

ことは、コロナ渦の中で、母の死の他に、様々な死を意識する年になりました
・①母の死（4/7・96歳）・②叔母（9月・87歳）・③叔父（11月・82歳）
・④妻の叔父（7月・79歳）・⑤姪の義父（8月・82歳）①から③普通の天命
ですが、④は仕事中、電気工事を屋根裏で実施中に、心筋梗塞死。⑤は放置死？
④は発見が遅れ、奥様が警察の事情聴取で一晩中拘束され、大変な経験だったとの
こと。⑤に至っては、死から、1週間以上放置され、遺体が腐敗していた？？
とにかく、死を意識せざるおう得ない、年齢になった今年でした。

山中 昇：「」

- ・年間 8760 時間あるが (24X365)、睡眠・食事・トイレなどで 1 日 10 時間使うので、自由に使える時間は 14 時間/日、約 5000 時間
- ・この内 2500 時間を自宅でのオンラインの仕事で使っている、残り時間は 2500 時間
- ・この、自由に使える 2500 時間の使い方については反省も多い。
- ・あと 3 年はこの調子で仕事するが、そのあとの時間の使い方が心配であり、今から準備しておかねばならない。

中久木 一乗：「1 年を振り返って」

「健やかな老衰に向かって努力した、この 1 年を振り返ってみた。

- ① コロナ禍で予定が狂い会合が減少し、脳をはじめ全身臓器を使う機会が減った。
- ② 加齢による老熟退化は進行しコロナ禍と混り、退化阻止行動が大きく制限された。
- ③ 一度だけの人生、自律と自立で最大限に生きたいが自分勝手には行かず、この先は、生かしてもらっている恩返しをしながら、力まずに穏やかに生きることにした。

*恩返しの一つとして、今年 5 月 31 日から、不法に投棄されている路上のタバコ吸殻のポイ捨て状況を調査しながら、その区間の道路の吸殻とタバコパッケージとマスク (=ニコチンとウイルス付着が心配される) を清掃している。

飯野 望：「今年の流行語」

沢山の言葉がありますが、会員の皆様の琴線に触れる言葉のみ集約いたしました。

あまビエ、リモート・テレワーク、大谷ショータイム、リアル二刀流 MVP (流行語大賞)、ミュー (株) オミクロン株、濃厚密接、SDG`S、ぺいぺい、シャシャ、レレレ。

植野 晏生：「旅ガチャ」

新語・流行語 2021 で「親ガチャ」はベスト 10 に入ったそう。その進化系に格安航空・ピーチの「旅ガチャ」がある。旅くじになっていて、5000 円出すと、カプセルに旅先が書かれていて 6000 円のクーポンがもらえるらしい。デメリットは沖縄へ行きたくとも旅先が北海道ならば南国の海ではなく雪世界ということもあるらしい。若者はこの意外性を喜ぶというが……。如何なものか。

入江 清之：「1 年を振り返って」

今年もコロナ自粛による Stay・Home & コロナワクチン接種騒動の 1 年だったが、この閉塞感漂う中で最高の活躍&成績で我々を元気付けてくれたのが、あの大谷翔平&藤井竜王で、翔平は 11 冠を、藤井竜王は 4 冠をそれぞれ手にした。又ワクチン 2 回目の接種は今日 3 日で 77% に達したが、これは菅前総理が在任中に 1 日・百万回接種しろとの大号令を発したお陰であり、私は菅前**総理**に アイムソーリー & サンキューソーマッチと謝意を。また 11 月に感染者数が何故あれだけ急激に減じたのかが、未だ分っていないところに今日早々新型オミクロン株の感染者が見つかり、第 6 波が心配。それにしても次々新型変異株を生み出すコロナ・この疫病**神**には “Oh my GOD”。

長嶋 秀治：「1 年を振り返って」

今年一年コロナに神経をすり減らしながら過ごしてきました。そんな中で将棋の藤井九段の四冠達成の快挙とスポーツの明るい話題が気持ちを和ませてくれました。ゴルフの松山選手がマスターズ優勝、オリンピックで日本選手のメダルラッシュ。そして極め付きは大リーガー大谷選手の MVP 受賞。大谷選手の母校、花巻東高校の佐々木監督は大谷選手を評してこう語っています「彼は自分のライバルは昨日の自分だと思っている」と。この言葉は我々にも通ずると思います。幾つになっても昨日の自分よりは成長していきたいという気持ちを持ち続けていきたいと思います。



予告：2 月 「船橋ユーモアスピーチの会」
2 月 10 日 (木) 15 時～ 船橋中央公民館 4 階 第 2 集会室
ロングスピーチ
植野 晏生さま：「加賀前田家」
スピーチテーマ 「参考」、「大きなお世話」、「自由題」